

No. 578
2019年
9月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、業績賞、実施賞、普及賞、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

推薦締切日：

1. 業績賞、実施賞、普及賞：2019年11月30日(土)
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2020年1月31日(金)
3. 学生論文賞：2020年3月31日(火)

* 論文賞の推薦はありません。

推薦書送付先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

詳細や推薦状フォーマットは、学会WEB「OR学会各賞候補者募集」ページをご確認ください。

〔業績賞〕

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満65歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。(副賞金30万円/1名)

〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔研究賞〕

昭和43年(1968年)に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の

条件を満たす個人に贈られます。1. 本学会員であること。2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。(副賞金50万円/1名)

〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。(副賞金20万円/1名)

〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて(非会員が含まれる場合も全員)を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。(副賞金30万円/1件)

〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、本誌2月号に掲載します。

● 2019年秋季シンポジウム(第81回)

日 程：2019年9月11日(水)

場 所：東広島芸術文化ホールくらら

テーマ：「ORの原点：理論と産業応用」

実行委員長：谷崎隆士(近畿大学)

シンポジウム特設HP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2019f/index.php/symposium/>

事前振込参加費：9月2日(月) 締切

正会員・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

*非会員の学生の事前振込はありません。

*本誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

正会員特典利用：9月2日(月) 締切

2019年度年会費納入済み個人正会員は、2019年春／秋シンポジウムのうちいずれか1回に無料で参加できます(ただし、事前申込に限る)。研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「正会員無料特典利用」に○をしてください。シンポジウムのみ参加の場合は、特典利用による参加の旨を事務局までE-mailにてお申し込みください。

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：4,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：5,000円

*学生の方は、受付で学生証をご提示ください。

協賛学会 (正会員と参加費同額)：日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (Jsripim), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

参加費関連問合せ先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2019年秋季研究発表会**日 程**：2019年9月12日(木)～13日(金)**場 所**：東広島芸術文化ホールくらら**テーマ**：「地方創生とOR」**実行委員長**：土肥 正 (広島大学)**研究発表会特設HP**：<http://www.orsj.or.jp/~nc2019/>**事前振込参加費：9月2日(月) 締切**

正会員・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

*非会員の学生の事前振込はありません。

*本誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。

参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。アブストラクト集をお送りします。

登壇料：非会員(非会員学生を含む)の方が研究発表をする場合、参加費と別途、登壇料2,000円/件を頂戴します(事前振込・当日受付同額)。

当日受付参加費：

正会員・賛助会員：7,000円

学生会員：2,000円

非会員学生：2,000円

非会員：10,000円

*学生の方は、受付で学生証をご提示ください。

懇親会：**会場**：東広島芸術文化ホールくらら2階

「KURARA CAFÉ ソラオト」

日時：2019年9月12日(木) 18:00～**会費：**

事前振込：5,000円(9月2日(月) 締切)

*本誌7月号綴じ込みの振替用紙をご利用ください。当日受付：6,000円

*当日受付には限りがありますので、なるべく事前にお申し込みください。

賛助会員の方へ：1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。(事前の参加連絡は不要です。)ご参加者様については、社内で調整をお願いします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りします。

企業展示：(株)オクトーバー・スカイ, (株)NTTデータ数理システム, (株)ITSC

出版展示：(株)コロナ社

協賛学会 (正会員と参加費同額)：日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (Jsripim), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

参加費関連問合せ先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2020年春季シンポジウム (第82回)**日 程**：2020年3月11日(水)**場 所**：奈良春日野国際フォーラム**実行委員長**：山下信雄先生 (京都大学)

● 2020年春季研究発表会

日 程：2020年3月12日(木)～13日(金)
 場 所：奈良春日野国際フォーラム
 実行委員長：笠原正治(奈良先端科学技術大学院大学)

● 研究部会・グループ開催案内

〔最適化とその応用〕

日 時：2019年9月7日(土) 13:30～18:00
 場 所：中央大学後楽園キャンパス3号館3階
 3300号室

テーマと講師：

- (1) 「高次元ニューラルネットに対する勾配法の大域収束性と汎化性能解析」
 二反田篤史(東京大学)
- (2) 「ブラックホールシャドウの撮影とイメージング」
 池田思朗(統計数理研究所, 国立天文台, Kavli IPMU)

● 研究助成案内

* 詳細は各財団のWEBおよび、OR学会WEBの「公募案内」をご覧ください。

・2020年度笹川科学研究助成

募集条件：

- 学術研究部門
- ・大学院生(修士課程・博士課程)
 - ・35歳以下の任期付き雇用の若手研究者
 - ・ただし、「海に関係する研究」は重点テーマとして支援し、雇用形態は問わない
 - ・助成額は、1件100万円を限度とする
- 実践研究部門
- ・学校・NPO職員等に所属している方
 - ・博物館、図書館等の生涯学習施設に所属している学芸員・司書等
 - ・年齢、雇用形態は問わない
 - ・助成額は、1件50万円を限度とする

申請期間：2019年9月17日(火)～10月16日(水) 23:59

申請方法：Webからの申請となります。

<https://www.jss.or.jp/ikusei/sasakawa/>

問い合わせ先：公益財団法人日本科学協会 笹川科学研究助成係

TEL: 03-6229-5365 E-mail: josei@jss.or.jp

・鹿島学術振興財団 2019年度研究助成

研究対象者

- (1) 都市・居住環境の向上
 - (2) 国土・資源の有効利用
 - (3) 防災・危機管理の推進
 - (4) 文化的遺産・自然環境の保全
- 以上の分野での研究者または研究グループ

助成金額と期間：(1) 1件あたりの助成金は、継続期間(2年目)の分も含めて合計300万円以内とする。
 (2) 助成期間は2年間まで。

使途：研究に必要な設備品費、消耗品費、謝金、旅費、印刷製本費等

募集締切：2019年10月31日(木)

申請：希望者は、OR学会事務局へご連絡ください。
 学会内の審査の後、当該機関へ推薦します。

OR学会申込締切：2019年10月4日(金)

推薦希望連絡先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

WEB: <http://www.kajima-f.or.jp>

● 協賛・後援案内

* OR学会が共催/協賛/後援するイベントの情報です。詳細は主催者へお問い合わせください。

・スケジューリング・シンポジウム 2019

日 程：2019年9月19日(木)～20日(金)

場 所：筑波大学

主 催：スケジューリング学会

WEB: <http://www.scheduling.jp/symposium/2019/>

・13th International Conference on Project Management, 2019

日 程：2019年11月12日(火)～16日(土)

場 所：Novotel Yangon MAX, Yangon, Myanmar

主 催：一般社団法人プロジェクトマネジメント学会

WEB: <http://www.spm-hq.jp/promac/2019/>

・第22回情報論的学習理論ワークショップ

日 程：2019年11月20日(水)～22日(金)

場 所：ウインクあいち

主 催：電子情報通信学会・情報論的学習理論と機械学習研究専門委員会

WEB: <http://ibisml.org/ibis2019/>

・計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会
2019

日 程：2019年11月23日(土)～25日(月)

場 所：千葉大学西千葉キャンパス

主 催：計測自動制御学会システム・情報部門

WEB：http://ssi2019.sice.or.jp/

・The 9th Asia-Pacific International Symposium on
Advanced Reliability and Maintenance Modeling

日 程：2020年8月20日～23日

場 所：カナダ連邦，プリティッシュコロンビア州，
バンクーバー市

主催団体：APARM2020 実行委員会

主 催：University of Alberta, University of
Electronic Science and Technology of China
(UESTC), Simon Fraser University, Canada

WEB：http://www.aparm2020.org/

● 新入会員（2019年7月理事会承認分）

—賛助会員A種—

メタウォーター(株)

—正会員—

川原 純 京都大学（関西支部）

伊藤信司郎 (株)リコー

阿部 和規 東京大学

福井孝太郎

川口 明子

—学生会員—

劉 瑞琳

遠藤 貴裕

夏井 陸

住友 千将

西島 光洋

森下 翔葵

蘇 悦

近岡 陽介

日比野尋伯

住谷 有規

福永 成徳

張 倩

武上雅紗世

加古 捺巳

稲垣 光隆

河内 樹

佐々木亮介

西 美佳

張 凱

伊田 啓史

甲斐 雄大

三菱電機(株)

公益財団法人日本交通公社

兵庫県立大学（関西支部）

東北大学（東北支部）

東北大学（東北支部）

甲南大学（関西支部）

東京工業大学

岡山県立大学（中国・四国支部）

中央大学

岡山県立大学（中国・四国支部）

南山大学（中部支部）

東京工業大学

筑波大学

近畿大学（関西支部）

お茶の水女子大学

筑波大学

早稲田大学

日本大学

日本大学

筑波大学

筑波大学

日本大学

東京理科大学

* 支部表記のない方は本部所属です。

4部会・グループ合同研究会 ～確率モデルの新展開～

主催：「信頼性とその応用」研究部会，「動的決定モデルとその応用」研究部会，「待ち行列」研究部会，「量子コンピュータと次世代計算機活用」研究グループ

共催：上智大学経済学部経済学科

実行委員長：來島愛子（上智大学）

実行委員：大輪拓也（九州工業大学），岡村寛之（広島大学），笠原正治（奈良先端科学技術大学院大学），吉良知文（群馬大学），鄭俊俊（立命館大学），フンドククトゥアン（筑波大学），矢実貴志（株式会社NTTデータ）

日時：2019年10月19日（土） 研究会：13:05～17:30，情報交換会・懇親会：調整中

会場：上智大学大四谷キャンパス 〒102-8554東京都千代田区紀尾井町7-1

（研究会場：2号館4階2-402会議室）

JR中央線／東京メトロ丸ノ内線・南北線 四ツ谷駅麴町口・赤坂口から徒歩5分

アクセス：https://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya

プログラム（講演題目，敬称略）：

13:05～13:10 開会挨拶

13:10～14:00 セッション1 座長：來島愛子（上智大学）

石井昌宏（上智大学）「空港事業の資金調達に用いるレベニュー債の価格評価」
（休憩10分）

14:10～15:00 セッション2 座長：笠原正治（奈良先端科学技術大学院大学）

木村達明（大阪大学）「シャドウイングの空間相関を考慮した無線干渉の時空間相関解析」
（休憩10分）

15:10～16:00 セッション3 座長：岡村寛之（広島大学）

町田文雄（筑波大学）「多様な分類器を用いた機械学習応用システムの信頼性」
（休憩15分）

16:15～17:25 セッション4 座長：大輪拓也（九州工業大学）

大輪拓也（九州工業大学）「イジングマシン概観」（ショートトーク）
半田 悟（株式会社富士通研究所）「確率的セルラオートマタを用いたイジング目的関数の基底状態探索に対する数学的解析」

17:25～17:30 閉会挨拶

17:45～18:45 情報交換会（予定）

懇親会：19:00～四ツ谷近辺で開催予定

※最新情報は下記ホームページでご確認ください。

「動的決定モデルとその応用」研究部会ホームページから参加登録（研究会／情報交換会／懇親会）をお願いします【9月25日締切】。研究会へのご参加は会場の都合上，先着60名とさせていただきます。

問い合わせ先：「動的決定モデルとその応用」研究部会

主査：來島愛子（上智大学），幹事：吉良知文（群馬大学）

研究部会ホームページ：<https://www.sci.kanagawa-u.ac.jp/math-phys/horiguchi/ORDP.html>

2019年度第2回ORセミナー『データ分析最新事情～主な応用先をマーケティングとして～』

開催趣旨：研究普及委員会では、ORセミナーと企業事例交流会を主催しています。ORセミナーと企業事例交流会の際に、ORセミナーのテーマ、企業事例交流会の講演企業などについて、アンケートを受け付けています。アンケートでご要望が寄せられましたマーケティングに関するORセミナーを開催します。ご参加をご検討いただければ幸いです。

参考：金明哲（編）、里村卓也（著）、『マーケティング・モデル 第2版』、共立出版、2015。
 高速な大規模データ解析を実現するソフトウェアツールNYSOL, <https://www.nysol.jp>

日時：2019年11月16日（土）10:00～16:30

会場：（株）NTTデータ数理システム セミナールーム（〒160-0016 東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館4階）

定員：50名（定員になり次第、締め切らせていただきます。）

プログラム（講演題目、敬称略）：

10:00～10:05 開会挨拶 松本和宏（コーディネータ、（株）富士通研究所）

10:05～11:15 セッション1

「今さら聞けない混合モデル・トピックモデルの基礎と応用」講師：後藤正幸（早稲田大学）

11:25～12:00 セッション2-1

「NYSOLを活用したマーケティングにおけるデータ分析の基礎（前編）」講師：中原孝信（専修大学）

13:00～13:35 セッション2-2

「NYSOLを活用したマーケティングにおけるデータ分析の基礎（後編）」講師：中原孝信（専修大学）

13:45～14:55 セッション3

「階層ベイズモデルによる消費者行動分析」講師：里村卓也（慶應義塾大学）

15:05～16:15 セッション4

「Retty株式会社におけるマーケティングサイエンスの活用事例」講師：岩永二郎（Retty（株））

16:15～16:30 閉会挨拶 松本和宏（コーディネータ、（株）富士通研究所）、アンケート記入

PCによる実習：なし

持ち物：筆記用具（アンケートを記入する際に使用します。）

参加費（テキスト代込み）：正会員・賛助会員・協賛学会員5,000円、非会員20,000円、学生会員1,000円、学生非会員1,500円

申込方法：以下の情報を明記のうえ、OR学会事務局へメールでお申し込みください。

お名前（ふりがな）、ご所属、会員種別（正会員／賛助会員／協賛学会員／非会員／学生会員／学生非会員）
 参加費のお支払い予定日

申込締切：2019年10月28日（月）

参加費振込先：みずほ銀行 根津支店（店番号235）普通1530801 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会：公益社団法人日本経営工学会（JIMA）、一般社団法人日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（JSRPIM）、一般社団法人日本設備管理学会（SOPE-J）、一般社団法人経営情報学会（JASMIN）、一般社団法人プロジェクトマネジメント学会（SPM）

参加者特典：参加者のうち非会員と学生非会員の方は、入会金・2019年度および2020年度年会費の免除特典でご入会いただけます。ご希望の方は、参加申込メールに「ORセミナー参加者特典入会」希望の旨をお書き添えいただくとともに、入会ページより入会手続きをしてください。

詳細は、OR学会WEB「ORセミナー」<http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html>をご参照ください。

第31回RAMP数理最適化シンポジウム

RAMP数理最適化シンポジウムは、日本オペレーションズ・リサーチ学会の数理計画研究部会（RAMP: Research Association of Mathematical Programming）によって年一度開催される、最適化・数理計画に関するシンポジウムです。2019年度も以下のとおりシンポジウムを開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日 程：2019年11月21日（木）、22日（金）

会 場：慶應義塾大学矢上キャンパス（16-A棟 厚生棟大中会議室）

RAMP主査：土谷 隆（政策研究大学院大学）

RAMP2019実行委員長：田村明久（慶應義塾大学）

RAMP2019プログラム委員長：後藤順哉（中央大学）

参加申込：RAMP2019ホームページ（<http://www.orsj.or.jp/ramp/2019/index.html>）にて行います。準備が整いましたら日本オペレーションズ・リサーチ学会のメーリングリストでお知らせいたします。

セッションおよび講演者

- (1) **「制御工学と最適化」** オーガナイザー：大石泰章（南山大学）
坂本 登（南山大学）、永原正章（北九州市立大学）、林 直樹（大阪大学）
- (2) **「離散構造とアルゴリズム」** オーガナイザー：垣村尚徳（慶應義塾大学）
岩田陽一（国立情報学研究所）、石畠正和（NTT コミュニケーション科学基礎研究所）、
河瀬康志（東京工業大学）
- (3) **「都市・地域解析と数理モデリング」** オーガナイザー：田中健一（慶應義塾大学）
栗田 治（慶應義塾大学）、井上 亮（東北大学）、本間健太郎（東京大学）
- (4) **「連続最適化の展開と深化」** オーガナイザー：檀 寛成（関西大学）
佐藤寛之（京都大学）、畔上秀幸（名古屋大学）、伊藤 勝（日本大学）
- (5) **特別講演1**
Zhaosong Lu (Simon Fraser University, Canada)
- (6) **特別講演2**
調整中

プログラムの詳細に関しましては、決まり次第、日本オペレーションズ・リサーチ学会のメーリングリストやホームページなどでお知らせいたします。

RAMP2019ホームページ：<http://www.orsj.or.jp/ramp/2019/index.html>

数理計画（RAMP）研究部会ホームページ：<http://www.orsj.or.jp/ramp/index.html>

2020年度「研究者海外研修支援事業」派遣者募集要項

国際委員会

日本オペレーションズ・リサーチ学会では2019年度に引き続き、標記支援事業を開始します。

【概要】

- ・海外の研究拠点に長期滞在経験のないOR研究者が、海外のOR研究拠点に中長期間滞在し共同研究活動を開始するための助成を行います。
- ・単発の国際会議発表に対する助成ではありません。

【背景と目的】

オペレーションズ・リサーチ（OR）の方法論に対する探求は、研究活動を国際的に展開することで一層の発展が期待できます。その上で国際的な研究ネットワークに入り込んでいくことが必要になりますが、そのためには少なくとも1ヶ月以上といった一定期間海外の研究拠点に滞在し、海外の研究者と直接的に知り合い共同研究に繋げるなど、継続的に交流するきっかけを持つことが重要です。また、とりわけ日本国内で博士号を取得した後数年間は、自らのテーマを確立していく上で難しい期間となる傾向があり、視野を広げる上でも国際的な舞台に出て共同研究者を見つけることは有効な手段となりえます。

そのような状況を念頭におき、本事業は、これまで海外のOR研究機関に滞在した経験のないORの研究者に対し、海外での共同研究拠点を築き国際的な研究者ネットワークに入り込んでいくための支援を行うことを目的とします。

本事業がこれまでの支援事業と異なるのは、国際会議などで単発の研究発表などを行うための資金援助ではなく、有望な研究者が1カ月程度以上、ORあるいはそれに関連する海外の研究拠点に滞在し、国際的な人的ネットワーク構築する活動を支援する点にあります。

このような人的なネットワークは、助成対象者個人にとって資するばかりでなく、長期的には学会全体の国際的交流の幅の拡大に資するものと期待しています。また有望な人材を選抜き海外に送り出すことは、日本のORの存在感を高めることにも繋がると期待しています。

【募集概要】

以下の要領で支援対象者の募集を行います。

募集定員：2名

支援内容：1名につき50万円支給

研修期間：2020年度中の開始（出発日が2021年2月末日以前）で、出発日から帰国日までが4週間以上

募集締切：2019年11月29日（金）（その後国際委員会内で選抜を行い、12月下旬の理事会での承認（決定）を予定）

応募方法：【申請書類】の項の内容を記した電子ファイルを電子メール添付にて事務局（jimukyoku@orsj.or.jp）宛てに送付（題目は「OR学会海外研修支援応募」としてください。）

応募要件：

- ・上記研修期間に海外のORおよび関連分野の拠点機関に滞在し、ORに関する共同研究活動に専念する意思があること
- ・応募時点で博士号を取得済みであること
- ・これまで海外の研究拠点におよそ4週間以上滞在して共同研究を行った経験がない、かつ、他の類似予算（在外研究予算など）を受けていないこと

・渡航前までにある程度英語でのコミュニケーションを担保できること

この他、研修期間終了後、航空券の領収書などの提出、OR学会機関誌上での体験記の寄稿、(この援助により始めた(共同)研究について)研究口頭・論文発表での援助の明記、研究口頭発表での学会ロゴの使用を派遣対象者の要件とします。

【申請書類】

応募する場合は以下の項目を日本語で記入した申請書電子ファイルを、学会事務局まで電子メール添付で提出してください。申請に基づき国際委員会で審査します。選抜に際し応募者の共同研究実行可能性と将来性を重視します。申請時点での受け入れ先の内諾は必ずしも要しません。

- ・申請者情報(氏名、所属、電子メールアドレス、会員番号(OR学会員のみ記載))
- ・滞在計画(希望する派遣先研究機関、受入研究者、おおよその滞在期間等)
- ・滞在中の達成目標(滞在中に目指すこと)および準備状況
- ・研究業績一覧(発表論文、国際会議・国内会議発表等。査読有無についても記すこと)
- ・英語のコミュニケーション能力に関する情報、国際会議参加経験、海外研究者との共同研究の経験など
- ・参照人の連絡先(氏名、所属、電子メールアドレス(または電話番号))
- ・応募要件を満たしていることの確認
- ・[参考情報] 交渉状況(滞在予定先との関係・受け入れ内諾など)

※応募時点での受け入れ内諾は応募の際の要件ではなく、あくまでも参考情報です。

なお、学会ウェブサイトより申請書の雛形ファイル(Microsoft Word docxファイル)が利用可能です。

【FAQ】

Q. 他の研究費予算との合算は可能ですか？

A. もしその予算が在外費用補助を目的とする場合、不可能です。本事業は、国際的な共同研究機会の少ない研究者に新たな海外研修の機会を提供することを目的としているので、同様の目的の資金を得ている方を対象としません。一方で他の外部予算(たとえば科研費など)が認める場合で、かつ、合算して利用する予定の場合には、申請書にその概要(期間の分割計画など)を記載してください。

Q. 複数の機関に滞在することも可能ですか？

A. 少なくとも1機関に2週間以上滞在する場合には認めます。ただし、支給額に変更はありません。

Q. 応募に際し、滞在を希望する機関、あるいは、ホスト(受け入れ教員など)の事前の受け入れ承認は必要ですか？

A. 必須ではありません。ただし、もしその当てがある場合には「参考情報」として申請書にそれを記載してください。

2019年度年会費納入のお願い

2019年度（2019年3月1日～2020年2月29日）年会費の請求書を11月に発送しました。このうちよの支払取扱票は、2019年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月です。

年会費専用振込み口座

みずほ銀行	根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 ニホンオペレーションズリサーチ ガツカイ
郵便振替口座	00190-6-79492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会
ゆうちょ銀行	〇一九（ゼロイチキユウ）（店番号019） 当座 0079492 口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会

年会費（不課税） 正会員 14,400円
学生会員 5,000円
シニア会員 7,200円
*手数料は払込人様ご負担をお願いします。
*お名前はフルネームでお書きください。
*所属機関からお支払の場合は、対象の個人会員名と所属機関を事務局にお知らせください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は2019年1月21日に「2019年度年会費」を引き落としいたしました。

2019年3月ご卒業の学生会員の方へ

- 1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。
2019年度の会費はそのままです。2019年11月に2020年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。
- 2) 退会希望の方へ**
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、メールにて事務局へご連絡ください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

- OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。
- 1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。
 - ①WEBからの入会申込み
 - ②入会金600円のお振込み
 - ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）
 以上3点をもって、無料化受付が完了します。
 - 2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

OR学会事務局

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055
E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
*各種お届けは、会員氏名と新旧の変更内容を明記してメールにてご連絡ください。
（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）

学
会
だ
よ
り